



副委員長・阿蘇地区  
山口 力男さん

**藤井委員** 芦北でも大きな問題の一つです。同志がいなくて、農業に対する意欲など精神面での問題もあるようです。  
**知事** ただ、他の県に比べると、本県の場合、十五戸に一人ぐらいの後継者が残っており、まだ恵まれているようです。  
**山本** よその県の事情を聞くと、本当に驚いてしまいます。  
**山口** 一つには価値観が違うからではないですか。農業をして土まみれになるのは格好悪い。どうせならサラリーマンにでもなつて、スマー



トに仕事のできるようにと。...。ただ、そういうもんじゃないと思えます。農業を特別の意識で見ると、職業選択の際、俺は医者になりたい、俺は公務員になりたいというのと同じように、俺は百姓したいというのがあるとおかしい。熊本だけでもいい。そのような社会風潮ができたらなあと思うのですが。  
**知事** 最近の若い人は、昔と違って自分の考えというものをしっかりと持っているんじゃないですか。ファッションなんかでも、他にないものつまり自分らしさを追求している。職業だって、安易にサラリーマンになろうとするのではなくて、本当に自分に合ったものを選ぶようになっている。そんな中で農業というのは、気象条件その他難しい問題もあります。少なくとも自分で判断してやれる魅力ある職業だと思いませんか。農業



玉名地区  
富田 剛さん

るのでは...。  
**広末委員** 都会の小学生など子供を田舎へ呼ぶというのも良いですね。  
**田中** 話は変わりますが、県内産の木材の流通について、明確な情報がないものだから、なかなか利用しづらい。とにかく、木材の需要が伸びるよう何か方策を考えてもらいたいですね。  
**知事** 公共施設を中心に、とにかく木材を使うように指示をいたしています。学校の内装や県営住宅など...。また、小国地方では、体育館や集会場など全て小国の木材を使うようにしています。つまり街を全部木でつくろうという「木を使った町づくり」に取り組んでいるのですが、地域づくりの好例といえるのではないのでしょうか。

が土にまみれて汚ないといいますが、今は機械化されて、そのようなイメージを持つこと自体が古い感覚なのではないですか。それよりも、むしろ農業は知識集約産業なのだというイメージを持たれるように行政も心掛け、みんなが意識を変えていく努力をしていかなければならないのではと考えます。  
**富田委員** 後継者問題でお願いしたいことのひとつに、県立農業大学校の今以上の充実があります。農業の良さを学習によって身につけさせて欲しいですね。  
**中崎** 今の農業技術は、日進月歩で進んできている。農大では、技術だけでなく、「ヤル気」をたたき込んで欲しいですね。  
**知事** 農大の就職率は八〇・九〇%で、中核農家の育成機関として重要な役割を演じています。今後は、農業技術者としてもいいですか、その育成機関としても、ますます発展を図っていきたくて考えています。

**国内外の交流を通じての人づくりを**  
**藤井** ヨーロッパ研修に行ってきたんですが、我々農業経営者は井の中の蛙で、まだまだ外国の農業がどのくらいのものなのか、全くわかっていないと痛感しました。どのような農業をやったら外国の農業に太刀打ちできるのか、肌身で感じることでできるようなリーダーの育成の場をつくっていただければと思うのですが。  
**知事** 私も、そういう研修の場が欲しいと思っています。農業をやっておられる方々に、国際研修の機会を増やすよう努力しているところです。  
**藤川** ぜひ実現して欲しいですね。  
**山内委員** 中堅で活躍している四十代くらいの人々の研修というのは、ひとつのポイントになるんでは...。  
**山口** 「百姓」こそ国際感覚が望まれると思います。視野を広げることが大切ですね。  
**知事** そして、国内の他の地域を見ることも大切ですね。



上益城地区  
藤井 一美さん



宇土地区  
山内 義光さん



### 知恵を出して、県内産木材の需要喚起を



鹿本地区  
田中 秀雄さん



**田中** 話は変わりますが、県内産の木材の流通について、明確な情報がないものだから、なかなか利用しづらい。とにかく、木材の需要が伸びるよう何か方策を考えてもらいたいですね。  
**知事** 公共施設を中心に、とにかく木材を使うように指示をいたしています。学校の内装や県営住宅など...。また、小国地方では、体育館や集会場など全て小国の木材を使うようにしています。つまり街を全部木でつくろうという「木を使った町づくり」に取り組んでいるのですが、地域づくりの好例といえるのではないのでしょうか。

につながらないではないでしょうか。  
**知事** 木材の有利性を考えたら、もっと需要が伸びてもいいはずなんですけど...。間伐材にしても、工夫しだいでほとんど利用されるのではないのでしょうか。流通関係者が、知事室にPR用として置いてある間伐材で作った机やラタンズやらを見て、「ござやんふとかつは売れん」といわれたんです。東京でも大阪でもマンションやアパートに住んでいる人にとつては、スペースが限られているんです。そのあたりの消費者の実態を調査すると、どんなものを作れば売れるか、つまり、今、消費者は何を欲しがっているか、そのあたりから考え方を考えていかなければなりません。農作物にしても同じようなことがいえるのではないですか。葉みかんを送るにしても、十キロ箱では大きすぎる。ニーズに応じた量を梱包して発送するぐらいの弾力性がないと、消費者は離れてしまいます。

### コミュニケーションを密にして 農協合併を円滑に

**山内** 県内の農協の合併については積極的に話が進められようとしています。  
**山本** そうですね。そんな中で必要なのは、組合長と若い人とのコミュニケーションがうまくいくことですね。  
**蓮池** 青壮年部盟友の頑張りどころ

**中崎** 農協合併が進んで広域になると組合員の連帯意識が薄れる懸念がありますね。  
**中西** そんなことのないように、県や県連の指導を願いたいですね。  
**山口** 農業政策など県が写真真を描く時には、現場とのつながりを持って、地域の意見を汲み上げる場をつくって欲しいですね。  
**知事** 是非、こちらからもお願いしたい。私自身から出て行って伺うことも必要だと思っています。  
**山口** 農業は大変に学べばなくて、農業は熊本に学べ、といわれるよう頑張りたいですね。  
**知事** 全くその通りだと思います。熊本の農業を思う時、農協の青壮年部の活動は、頼もしい限りです。定期的にこのような機会を設けて話していきたいですね。  
**山本** 是非これからもお願いします。これからは健康に気をつけて、熊本県のために頑張りてください。今日はお招きいただきありがとうございます。



下益城地区  
中崎 亮一さん



副委員長・球磨地区  
広末 光さん

**広末** 多良木町の方でも、住宅を建てる時には木材を使うようすすめています。  
**田中** 輸入問題で林業者が意欲をなくしているの、山林が荒れています。間伐もしない、手入れもしない、という状態がそのまま続くと自然破壊